

令和3年度 福井大学教育学部附属特別支援学校 スクールプラン

<p>地域への期待 障害のある人となない人が、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合っていく社会の実現</p>
<p>家庭との連携 一人一人の家庭生活の充実と生きる力（自立と社会参加）を育む教育の充実</p>
<p>福井大学附属学園第3期中期目標・中期計画における附属学園スクールプランに基づいた教育実践の実現</p>

<p>本校の使命 ○知的障害教育校としての使命 ○教育実習校としての使命 ○研究開発校としての使命 ○教員研修校としての使命</p>
<p>↓</p> <p>〈本校の教育方針〉 一人一人に合わせた教育 小・中・高一貫した教育 関係機関と連携した教育 〈本校の教育目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●心身共に健やかな子を育てる ●生活に必要な基礎的能力を養う ●はたらく喜びをもつ子を育てる

<p>創立50周年記念事業 ・記念事業として玄関幕、記念品作成などを行う。 ・創立から50年を振り返り、40周年以降についての記録を記念誌にまとめる。</p>
<p>本校研究テーマ 「一人一人の学びが深まるカリキュラム・マネジメント」（4年計画1年次） ～各教科等を合わせた実践の中で一人一人に最適な活動をつくる～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の丁寧な実態把握に基づいてねらいを設定し、個別プランを活用する授業づくり ・各教科等の様々な視点を生かした「合わせた指導形態」における授業内容の構想 ・児童生徒の学びのプロセスを重視した授業実践と事例研究 <p>・公開研究会の開催（令和3年11月19日（金）午後オンラインで開催）</p>

重点目標		1 教育課程・生活教育	2 生徒指導・保健教育	3 進路指導・キャリア教育	4 教育相談・センター的機能	5 地域交流・インクルーシブ教育
具体的 取り組み	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな教育課程での授業実践 ・個々の児童生徒のアセスメントに基づき、個別プランを活用した授業づくり ・教師の学びのサイクルが繰り返される研究の実施 ・研究授業、授業研究会の実施（年3回） ・個別プランを通じた保護者との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態に応じた安全教育・情報教育の充実を図る。 ・養護教諭、栄養教諭と連携し、継続した保健教育，食育を行う。 ・危機管理マニュアルの見直しと共通理解 ・安全教育の事後学習の工夫と家庭・福祉事業所との連携 ・情報機器活用のルール・マナーの確立 ・児童生徒の実態に応じた保健教育，食育 ・養護教諭，栄養教諭との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・段階的な進路指導・キャリア教育を推進する。 ・児童生徒・保護者の意思決定支援の充実を図る。 ・接続学部同士の丁寧な連携 ・アンケートや相談会などを通じた本人の状況把握と、本人による主体的な実習先決定（中，高等部） ・保護者への啓発活動 ・おしゃべりサロンや進路だより，学習会，進路相談会などによる保護者の意向の聞き取りと情報提供 ・キャリア教育全体計画の作成及び各学部のキャリア発達を考慮した授業づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の教育的ニーズに合わせて「おしゃべりタイム（心の相談会）」の内容や方法の充実を図る。 ・児童生徒個々の教育的ニーズに合わせた「おしゃべりタイム」の実施（一人1回以上，事前の保護者の意向聴取） ・「おしゃべりタイム」の情報共有と児童生徒の生活への活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が地域の人と直接，または間接的に関わり活動することを通して，多様な人と共に生き生きと生活し，学びを深められるように支援する。 ・本校の教育活動と関連付けられた交流活動の内容や方法の検討 ・交流相手との連携の在り方検討 ・交流活動を支える校内体制の構築
	小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の児童の実態や学びの変容を教師集団で読み取り，各教科等を合わせた指導形態を生かす授業づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育について，連絡帳等を通じた家庭との情報共有 ・児童の実態に応じた情報機器活用のルール・マナーの学習 ・身近自立を促す保健教育，食育の実施と継続した事後指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・小6児童の中学部体験実習報告会への参加 ・小3組児童の高等部現場実習見学（校外学習）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おしゃべりタイム」を一人1回程度実施（児童の実態に応じて，話題や時間帯の設定を調整） ・事前・事後における保護者や教師間での情報交換，日々の生活への活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ等の感染症対策を図り，学校間交流，居住地校交流，学園（附属幼稚園）との交流を実施
	中学部	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別プランに基づいた実態把握」及び「授業後の教師間の省察」に基づく授業づくり ・各クラス・グループ活動の情報及び意見交換の機会の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育について生活ノートや学部通信等を通じた家庭との情報共有 ・生徒の実態に応じた情報機器活用のルール・マナーの学習 ・思春期を安心して過ごせるような保健教育，食育 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所見学や体験実習報告会などを通して，生徒自身が主体的に進路を考えるための支援（グループ別での実施） ・段階を踏んだ体験実習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おしゃべりタイム週間」を設定し，一人1回以上，必要に応じて複数回実施，方法の工夫や事後の対応の検討 ・不安や心配ごと，楽しみや期待を表現する場としての「おしゃべりタイム」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・本来の教育活動と連動するかたちでの地域（近隣の学校や居住地校，施設）交流の実施 ・互いのニーズや実態に応じてオンラインなどを取り入れた交流の在り方の工夫
	高等部	<ul style="list-style-type: none"> ・将来に必要な知識やスキルを意識した実態把握とクラスや授業グループでの個別プランの作成 ・授業，単元ごとの評価を活かした授業づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じた避難訓練の事後学習の充実 ・生徒の実態に応じた情報機器活用のルール・マナーの学習 ・卒業後の生活を見据えた保健教育，食育と，学校生活の中で般化できるよう継続した支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所見学，進路相談等の機会を通じた生徒自身が主体的に進路を考えられるような支援 ・生徒の希望や実態に応じた段階的な実習経験の積み上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や本人の思いを受け止め，話題や方法の工夫（時間帯の設定）で一人1回以上実施 ・内容を学部の教師や保護者と共有，必要に応じて各校務部と連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内及び校外「虹の市」を年数回実施 ・地域とのつながりを築く教育活動を方法を工夫して実施
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・個別プラン ・主体的に取り組める教育活動 ・情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育，情報教育 ・健康，安全への配慮 ・健康な体づくり，保健教育，食育 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育 ・進路学習，進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流 	